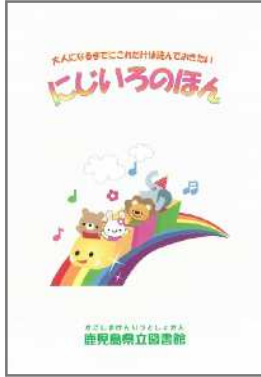




県図だより

ホットニュース

大人になるまでにこれだけは読んでおきたい「にじいろのほん」改訂版の紹介



「にじいろのほん」とは、鹿児島県立図書館の職員が子供たちに大人になるまでに読んでもらいたい本を選んだブックリストです。空に架かるにじのように子供から大人への健やかな成長の架け橋になってほしいという願いを込めて選びました。

子供の発達段階は下のようにより分けしています。

- あかいろ…0歳～
- あおいろ…3歳～
- ももいろ…1年生～
- みどりいろ…3年生～
- きいろ…5年生～
- みずいろ…中学生～
- むらさきいろ(おかしばなし)…すべての子ども

今回は平成25年度以来の改訂となります。令和7年4月1日の公開を楽しみにお待ちください！

なお、児童文化室に現行版の「にじいろのほん」冊子があり、当館HPにも掲載してありますので、まだ御覧になっていない方は、ぜひ読んでみてください。

にじいろのほん(現行)

図書館で探そう、調べよう！ 魚の地方名(方言)を知りたい

「ある魚の地方名(方言)について知りたい」というお問い合わせがありました。調査したところ、『鹿児島県魚介藻類方言集 魚類編 改訂版』(鹿児島県林務水産部水産振興課/編 鹿児島県林務水産部水産振興課 1993年)に詳しく載っていることが分かりました。さらに、鹿児島県水産技術開発センターのサイト(https://kagoshima.suigi.jp/)には、「魚介藻類方言集」、「魚名方言集(検索)」があること、鹿児島県の水産業について様々な研究報告や情報があることが分かりました。上記の資料とサイトを質問者に紹介しました。さらに詳しく伺ったところ、「事前に生成AIで調べた方言が載っていないのはなぜか。」とのことでした。そこで、生成AIの注意点として、「必ずしも生成された内容が『正しい』とは限らないこと」をお伝えした上で再度調査を行いました。該当の資料を見つけることはできませんでした。生成AIの活用には、十分な注意が必要であると感じた事例でした。

《一般図書》1月15日(水) **新着図書案内** 《児童図書》1月23日(木)

- プチプチ
なぜつぶされることを防ぐために生まれた気泡シートは指でつぶされるようになったのか
プチプチ文化研究所/編 マイナビ出版
- 英語で至福のエッセイ
たのしく読めて、学びもたっぷり
ケイ・ヘザリ/著、アルク出版編集部/編集、鈴木香織/訳 アルク
- 読書効果の科学
読書の“穏やかな”力を活かす3原則
猪原 敬介/著 京都大学学術出版会
- ?と!の絵本 | たれてる
鈴木 のりたけ/作 ポプラ社
- 見えない壁だって、越えられる。
クライマー小林幸一郎の挑戦
高橋 うらら/文 金の星社
- だるまさんがころんで
林 けんじろう/作 岩崎書店



左の二次元コードから今月の新着資料のすべてを御覧いただけます。画面上段のプルダウンリストから館種と図書種別が選べます。お探しの分類(歴史、文学全般等)をお選びください。

催し物の御案内

- 貴重資料の紹介展
期間：1月17日(金)～2月21日(金)
場所：玄関ロビー
『天文館界限今昔～史料が伝えるまちの息吹～』詳細は右のコーナーをお読みください。皆様の御来場をお待ちしております。
- 一般閲覧室ミニ展示
2月1日(土)～2月28日(金)
「詩歌の世界へ」
詩や短歌、俳句の本を集めました。短い言葉から広がる世界を感じてみませんか？
- 児童文化室ミニ展示
1月23日(木)～2月22日(土)
「空を見上げよう」
冬は空気中にチリが少なく、空や星空が他の季節より澄んで見えます。天気や星座、宇宙に関する本を紹介いたします。

貴重資料の紹介

令和7年1月17日(金)から2月21日(金)にかけ、県立図書館にて貴重資料紹介展『天文館界限今昔～史料が伝えるまちの息吹～』を開催し、当館所蔵の天文館に関連する史料を展示します。
「天文館」の名前の由来となった幕末の天文・暦学の施設「明時館」で作成された『薩摩暦』をはじめ、度重なる戦火によって残念ながら失われたものもありますが、大正時代以降に発展した劇場、映画館並びに百貨店などの関係資料、そして昭和時代の懐かしい映像等、残された史料を通して庶民の哀歓とともに今なお発展し続ける「天文館」の魅力を感じ取っていただけたと思います。また、関連イベントとして、かごしまの歴史文化講演会『その時、天文館は…～時代を映すまちの変遷～』を1月25日(土)に開催します。詳しくは県立図書館ホームページを御確認ください。
あの頃の天文館、これからの天文館に思いを馳せる……。ぜひこの機会を、お見逃しなく。

わが家・わたしの『宝本』

今回紹介していただいた宝本は、嘉悦 洋/著の『31センチの約束』(西日本新聞社)です。

寄付された頭髪で医療用ウィッグ(かつら)をつくり、病気や事故で髪をなくした子どもに贈る活動「ヘアドネーション」をテーマにした物語です。私も一度だけヘアドネーションで髪を寄付したことがあります。母といっしょに、「髪を切るんだったら31センチ髪を伸ばして寄付した方がいいよね!」と話し、髪を伸ばしました。この本に出会ったのは、髪を寄付した後でした。自分もヘアドネーションを経験したので、31センチ伸ばす大変さにも共感しました。ヘアドネーションをしたときの気持ちを思い出させてくれるこの本は、これからも大切にしていきたい、私の宝本です。(中学1年生)



児童文化室から

にじいろのほん『りんごがひとつ』ふくだ すぐる/作・絵(岩崎書店)からのクイズです。

いきどまりだったのは どこかな？

- ①うみ ②かわ ③がけ

ヒント

たかいところに あるよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、2月14日(金)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。前回の答えは「①おにごっこ」でした。たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
	12	13	14	15★	16	17	18◆
1月	19	20	21	22★	23	24	25
	26	27	28	29★	30	31	1
2月	2	3	4	5★	6	7	8
	9	10	11	12★	13	14	15◆

開館時間 火曜日～土曜：9時～21時
日曜日・祝日(白抜)：9時～17時

- は、休館日、白抜は午前9時～午後5時
- ★は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇は、一般閲覧室新着図書の日(1月15,31日,2月14日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(1月23日)

カバー、ページ破れ等の破損等を見つけたら、御自身で修理せずに、カウンターまでお持ちください。